

ICTを活用した教育学習の振興に関する事業

フューチャースクール推進事業（総務省：平成22年度～25年度）

学びのイノベーション事業（文部科学省：平成23年度～25年度）

事業内容

○タブレットPC、電子黒板、無線LAN等のICT環境を活用した授業を実践

- ・ ICT環境を構築・運用・利活用するうえでの技術的条件の検証（総務省）
- ・ ICTを活用した指導方法、デジタル教科書・教材の開発、
教科指導等におけるICT活用の効果・影響の検証（文部科学省）

全国20校（小学校10校、中学校8校、特別支援学校2校）を実証校



- 学習意欲の向上、コミュニケーション活性化などの児童における成果
- ICT活用指導力が向上するなどの教員における効果
- 本事業により作成したガイドラインを参考にした自治体独自の取組（荒川区、大阪市、佐賀県、長崎県）
- 端末個々に利用環境を設定するため、導入・運用コストが増大、常駐するICT支援員が維持管理を行うことでコスト高
- 短時間の一斉ログイン等により、ネットワークに大きな負荷がかかり、接続が不安定
- 教員のICT活用指導力の格差、教育コンテンツの不足

ICT を活用した教育学習の振興に関する事業

先導的教育実証事業（平成26年度～平成28年度）（総務省）
情報通信技術を活用した新たな学び推進事業（平成26年度～）（文部科学省）

事業内容（委託事業）

○学校間、学校・家庭が連携した教育体制を構築・実践

- ・ 学校間、学校と家庭がシームレスにつながる環境を構築するため、クラウド・コンピューティング等の最先端技術を活用した、低コストで多種多様な端末に対応した教育ICTシステムの開発・実証をし、ICT環境導入・運用の低コスト化等の実現（総務省）
- ・ 指導方法等の開発、教員の研修体制の構築など、先導的な教育体制の構築
（文部科学省）全国10地域（1地域4校程度）

事業内容（補助事業）

○フューチャースクール推進事業、学びのイノベーション事業の成果を踏まえた学校ICT拠点作り（文部科学省）

- ・ 平成26年度に40地域（3年間で100地域）を拠点地域に指定し、教材費、外部人材（ICT支援員等）の配置、備品等を対象経費とする補助事業を実施
〈補助率1／3〉